

『謹賀新年』

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

町長に就任し、三度目の春を迎えますことに、改めて月日の経過の早さを実感いたしております。

昨年を振り返りますと、8月9日からの豪雨の際は、町に2回、線状降水帯情報が発表され、住宅や店舗の床上浸水などの被害が発生しました。被害にあわれた皆様に心からお見舞い申し上げます。道路や河川の公共施設も被災し、特に下水道処理施設「新宮中央浄化センター（アクア新宮）」の被災による機能停止については、多くの方々に多大なる御迷惑と御心配をおかけしましたことに、お詫び申し上げますとともに、町民の皆様に生活排水の削減に御協力をいただきましたことに改めて深く感謝申し上げます。

新宮町合併70周年という節目の年に、このような被害を受け、やむを得ず記念式典やまつり新宮を中止する決断をいたしました。心待ちにされていた方も多かつたと存じますが、御容赦くださいますようお願いいたします。

町長に就任して以降、「新宮町を福岡県の至宝に」をスローガンに、各種施策を開拓してまいりました。

子育て支援につきましては、おたふく風邪ワクチン接種費用や産婦健康診査費用の助成、医療的ケア児の保育支援、不登校児の相談支援に取り組むとともに、高齢者支援につきましては、高齢者移動支援を継続実施するなど、福祉事業のより一層の充実を図っています。

教育分野では、漁村留学を継続して実施したほか、子どもたちの国際感覚を育てるため中学生の海外派遣事業を昨年に引き続き実施し、参加した生徒からは新たな価値観に触れ、将来のことを考える機会となりよかったですとの声をいただきました。人権行政分野では、あらゆる差別をなくし、人を思いやり快適に暮らせるまちづくりを進めるため、人権フェスティバルなどを開催し、人権に関する学びの場を提供しています。

* DXの推進につきましても、町公式LINEを利用し、行政情報の発信と住民サービスの向上に努めるとともに、窓口のキャッシュレス決済の導入を進めなど、利便性の向上と業務の効率化を図ってまいります。

1月16日(金)は、役場窓口業務を一部停止します(詳細は16ページ)。
住民の皆様にはご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

また、下府地区及び三代地区において整備が進んでいる土地区画整理事業の促進や、さらには、立花口地区におけるスマートインターチェンジの国による新規事業化が決定したことにより、町のさらなる発展が期待されます。

農林水産業振興につきましては、各種施策を継続するほか、新たに鮮魚流通施設整備に向けた支援を進め、また環境施策におきましては、『新宮町ゼロカーボンシティ宣言』の着実な実行に向け、コミュニティバスマリンクスにEVバスを導入し運行を開始したほか、公用車につきましてもEV車を追加導入しました。今後、さらなる地球温暖化対策推進に向けて、皆様の御協力をお願ひいたします。

今後も町民の皆さんに新宮町に住み続けたいと思つていただけるよう施策の充実を図るとともに、引き続き安定した自主財源の確保にも努めてまいります。

不安定な国際情勢、今も続く円安や物価高騰など、厳しい状況ではありますが、高市内閣による「強い経済」を実現する社会経済対策を本町に則した形で十二分に活用し、皆様の日々の生活が豊かになるよう進めてまいります。未来の子どもたちに素晴らしい新宮町を継承できるよう引き続き取り組んでまいりますので、皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

本年が、皆様にとりまして笑顔溢れる幸多き一年となりますよう心から祈念申し上げまして、新年のごあいさつといたします。

令和八年一月

新宮町長 桐島 光昭

※DX：行政手続きのオンライン化などテクノロジーを活用し利用者中心の行政サービスを実現する取り組み。

※スマートインターチェンジ：高速道路の本線やサービスエリアなどから乗り降りできるように設置されるETC専用の簡易構造のインターチェンジ。